

# 弁護士の 錬手法

## 司法試験

第3部会 会員 渡部 友一郎

### 1 若手に共通する成長の悩み

「法律事務所に移籍するか悩んでいます」  
私より若い世代の組織内弁護士からよく相談を受けます。

「成長欲求」と「会社での成長の達成感」の齟齬は、シニア・ミドルの先生がいる会社よりも、管理者に弁護士がいない会社で起こりやすいようです。管理者が弁護士のキャリア形成の実情を知らないため、無理からぬことといえます。

また、法律事務所の同期が、弁護士としてある種の「独立性」を日々高めていることに焦りを感じる若手も増えているように思います。

私は、常々、私たちに有効な「道筋」はないか、自身の課題であり、潜在的に若手に共通するこの課題を考えてきました。

### 2 鍛錬の道—カリフォルニア州司法試験

私のたどり着いた解決策は、米国「カリフォルニア州司法試験」の独学挑戦（LLMの米国留学なし）の道でした。

まず、米国各州の司法試験は、原則として米国のロースクールの修了を要件とします。

しかし、例外的に、カリフォルニア州の場合、日本法の弁護士資格をもって、General Bar Examを特例受験できます<sup>(1)</sup>。

会社業務のみで成長するという発想を捨て、会社とは独立した鍛錬の道を併せ持つことが突破口ではないか、と考えます。

「カリフォルニア州司法試験」は全米各州の司法試験で最も難関である上、当該特例受験者の合格率は約10から20%に留まり、統計上、さらに狭き門となります。他方で、①米国法の習得、②語学向上、③転職に有利な資格取得、という大きな3つの果実を獲得できます。

### 3 検証可能な鍛錬の道か否か

私は、組織内弁護士になった当初、法律事務所での成長速度を維持しようと、様々な独学方法を試しました。

しかし、ジョフ・コルヴァンが、『究極の鍛錬』で説いたように、フィードバックを得られない鍛錬は、膝下までカーテンがかかった状態でボーリングの投球練習を繰り返すようなものであり、鍛錬の効果は限定的でした。

「カリフォルニア州司法試験」の独習が優れている点は、容赦ない〇×のフィードバックが（師がいなくても）得られることです。

例えば、MBE<sup>(2)</sup>（短答試験）では、合計200問を一問あたり100秒程度で回答せねばならず、演習でも〇×がわかります。この

- (1) Attorney applicants admitted in jurisdictions outside the United States
- (2) The Multistate Bar Examination

フィードバックを通じて、法的知識と読解スピードが飛躍的に向上していくことでしょう。

私も、5分程度要したMBEの問題が、本番の試験では200問全てを時間内に解き切るまでとなりました。検証可能な鍛錬の道だからこそ、業務と異なり、成長を簡単に可視化できます。

### 4 四苦八苦しただスタート方法を共有

基礎情報を共有致します。

#### (1) 登録書類等を取り寄せる

日本人は社会保障番号（SSN）を保持しないため、オンラインでいきなり出願できません。まず、脚注のメールアドレス<sup>(3)</sup>に対し、① General Bar ExamのRegistration documents送付希望の旨、②米国ロースクールを卒業しておらず日本法弁護士として受験するための申請書類が欲しい旨、③SSNがないため免除申請したい旨、④送付先の郵便番号・住所・氏名をそれぞれ英語で丁寧に伝えましょう<sup>(4)</sup>。気長に、普通郵便（！）を待ちます（20日程度<sup>(5)</sup>）。

#### (2) 教材のE-dayで購入できる

教材は、米国E-dayで購入したbarbri社の講義教材一式、米国Amazonで購入したemmanuel

(3) msc@calbar.ca.gov

(4) まず何か公式な案内に目を通したいという方は、[https://www.calbarxap.com/applications/calbar/info/bar\\_exam.html](https://www.calbarxap.com/applications/calbar/info/bar_exam.html)をご覧ください。

(5) 私は、モラルキャラクター審査におごぼ、「指紋証明」に関する補正指示を受けたのですが、補正指示書到着時に（補正期間である）2週間が既に経過しており、一時、焦りました。

# 若手組織内 新しい鍛 —カリフォルニア州

シリーズの MBE 過去問教材、Kaplan 社の問題集などです。

私は、電話帳の如き問題集を「山」と見立て、毎朝4時から7時までの3時間を「登山」に充てることで、着実に前進している手ごたえ（飛躍感・充実感）を獲得できました。教材を早速入手されたい方は、Ebay にアクセスして「barbri」

「California」等のキーワードを打ち込み、セツトで販売<sup>(6)</sup>されているものを探し、購入してみましよう。二年以内の中古が安くお勧めです<sup>(7)</sup>（脚注に細かなアドバイスを記載しております<sup>(8)</sup>）。

(6) CAH、CMR、CA、MS の教材は後述の「先輩ノート」があれば無くても OK です。なぜなら、必要な論証はすべてノートに掲載されているからです。加えて、合格最低水準といわれる800から1000時間を捻出する余裕は（私達）働きながらの身には無く、読んでいる時間もないためです。必要なセットは、MBE の問題集である PRE、MPQ 1、MPQ 2、MSEE 等、及び、パフォーマンステスト用の CPTB です。

(7) 2015年2月の試験から MBE 試験に民事訴訟法が追加されたため、2014年度以前の版は対応していません。  
(8) なお、特筆すべき文化的差異として、Ebay における米国人の「書込有」は日本人の「書込有」とは程度が異なっている可能性が高く、「僅かな」書き込みではない可能性が大了。

## (3) エッセイ試験は先輩ノートを活用する

Essay（論文試験）対策は、日本人の弁護士先輩方が整えた「先輩ノート<sup>(9)</sup>」を徹底活用しましょう。私も、一部 Update に貢献しております。脚注の URL にて、当該ノートを無償<sup>(10)</sup>配布しております（ハンデいな製本を強く推奨いたします）。

私は、この「先輩ノート」を、日本の司法試験の択一六法同様、手垢で文字通り真っ黒になるまで読み込んでおりました。

## 5 鍛錬の先にある本試験

カリフォルニア州司法試験は、冬と夏の年2回実施されます<sup>(11)</sup>。

試験会場は、1,000から1,500人が収容される巨大会場で、1つの机に2人が着席します。紙面の関係上、1つだけお伝えすると、パサディナというロス郊外の試験会場がオススメです。空港から1時間程度であり、治安も大変良く、高級住宅街のため食事も充実しています。

## 6 トライアルに打ってつけの MPRE<sup>(12)</sup>

お試して初めてみたい先生には、MPRE の受験をオススメ致します<sup>(13)</sup>。

- (9) <http://www.dlmarket.jp/products/detail/309974>
- (10) 将来にわたる無償性を保証するものではありません。
- (11) 実際に受験する場合、有給休暇をとるよう取得するかは、組織人として、慎重な検討が必要です。
- (12) Multistate Professional Responsibility Examination

MPRE は、年3回実施される、60問の択一式法曹倫理試験であり、MBE と問題作成機関が一緒です。さらに、試験は一日で終わり、かつ、米国領北マリアナ諸島（サイパン<sup>(14)</sup>）で受験可能であるため、本番と異なり、三連休で受験が可能です。教材も Amazon で購入できるため、誰もが簡単に始められる鍛錬です。

## 7 最後に

文字数の関係上、詳細な手続、創意工夫までは共有できませんでしたが、「カリフォルニア州司法試験」という新しい鍛錬手法を皆様と共有できたのであれば幸いです。私でお役にたてそうなことがあれば、どうぞ遠慮なくご連絡いただければ幸いです<sup>(15)</sup>。前例がなければ創ればよい、のベンチャー精神で皆様と悩みを共有しつつ、ともに歩いていけたらと願っております。

\*

（わたなべ ゆういちろう）  
Aibund（エアビュンドビー）。弁護士。東京大学法科大学院卒。フレッシュユフィールズブルックハウスデリンガー法律事務所勤務後、株式会社ディー・エヌ・エー（DeNA）法務部勤務。8月より、現職。

- (13) カリフォルニア州は、弁護士登録のために、①司法試験合格、②モラルキャラクター試験合格、③ MPRE 合格、の3つを主な要件としています。
- (14) JTB の3日間サイパンツアーが経済的に合理的だったため利用したもの、ツアーバス内で、「渡部様1名様」とガイドに呼ばれ、他の参加者より奇異の目で見られたことを除いては、万事良好でした。
- (15) 渡部宛（yuichiro.wrnb@gmail.com）